



「見たり、聞いたり、探ったり」No.227

通算 No.379

青 木 行 雄

シンガポール行状記 No.1 宿泊「マリーナベイ・サンズ」

何かと昨年話題で先のアメリカのトランプ大統領と北朝鮮の金正恩労働党委員長との会談場所となった国、シンガポールに行くことになった。人口約561万人、国の広さ全面積は東京の23区とほぼ同じで、関西の淡路島ぐらいらしく約716km²であるという。

民族は中華系が75%、マレー系14%、インド系9%、その他が2%と書かれていたが今日本人は26,000人ぐらい住んでいるらしい。

友人の紹介で飲み屋街の「クラブ」に行ったがその女性は殆ど「タイ人」と言う。

裕福で住み良いシンガポールには近郊の国々から出稼ぎに来ている人が実に多いようである。我々が宿泊した「マリーナベイ・サンズ」ホテルから紹介したい。

シンガポールの人気ホテル、「マリーナベイ・サンズ」の魅力から案内しよう。

今、シンガポールで一番泊ってみたいホテルなのである。そんなことで今回の旅行の宿泊ホテルがこのホテルとの事で参加することになった。

まず注目を集めるのが、3つのタワーから成る総客室数2,560の巨大ホテルで、マリーナベイを付属の池のように従え立っている。シティー・ビューの部屋の壁一面の窓からは、マリーナベイの向こうにマラーイオンやシェントンウエイの摩天楼が所狭しと立っている。客室にはデラックスルーム、プレミアムルーム、クラブルームなどの段階があるが、どの部屋も眺望は抜群であった。またやわらかいベージュ色で統一された客室はゆったりした造りで、広々としたデスクや機能的で使いやすい客室内のデスク、洗



※シンガポール、マリーナベイ・サンズホテル。3棟のホテル棟が上部で連結されている。上部にプールと林がある



※マラーイオンから眺める、マリーナベイ・サンズホテル。すばらしい眺めであった



※ツインの部屋。かなりの広さがある



※洗面所は2人で使えて、大きなバスがある。シックで使いやすかった



※マリーナベイ・サンズホテルから写したシンガポールの日の出。湾に停泊のタンカーがすごい



※日中のシンガポール湾。朝と昼の違いが良くわかる

面台が2つ並んでいて便利であった。たまたま私の客室は東側で朝日が昇り、シンガポール港のタンカー等が停泊している風景が目の前に見えて朝日と共にそれこそ感動であった。

また、マリーナベイ・サンズの最大のウリは、地上57階にあるインフィニティプール。ホテルの宿泊客のみ利用可能であり、雄大な景観、景色は世界中でここが一番、太陽に一番近いプールなのかも知れない。

プールの水面からシェントンウェイの摩天楼がすっと立ち上がる姿は、実際に見ると迫力満点であった。地上200mもあるプールから眼下を見ると、夢を見ているような景観であった。(同じことを何回も言うようだが)

今や世界各国から集まる宿泊客にとっても、一番のお目当てになっているのがこのプールらしい。世界中の男女の水着姿も見られ、大変楽しく幸せな一時でもある。このプールサイドには南国の木々がいっぱいあって森の中にいる気分も味わえる。その森の中で「ジャグジー」的な風呂のプールもあって実に楽しい。



※かなりウェーブしているのがわかる。200mの所にプールがあって、世界一太陽に近いプール



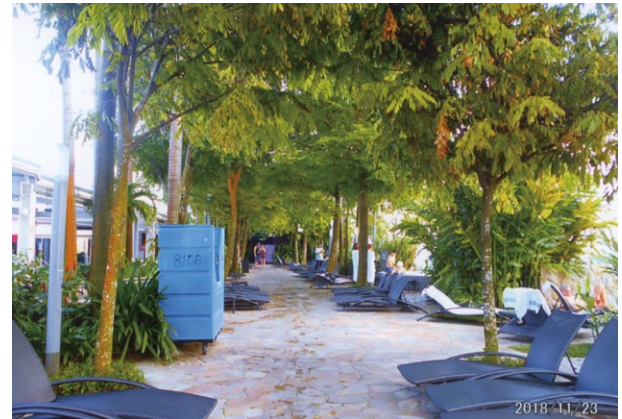
※200mある屋上のプール。混む時は芋を洗う時のよう
だと言っていた



※時間帯により、いろいろだが朝は空いている



※マリーナベイ・サンズホテルの屋上。プールの横に作
られた森林。ここからもシンガポール湾が良く見えた



※屋上の公園。自由にプールから上り、水着のまま散
策出来る

宿泊客がこのプールに行くには部屋から水着を着て、バスローブを上に羽織って行ける。プールにはバスタオルが用意されており不自由なことは全くない。水着のレンタルもあるが、シンガポールのこのホテルに行く時は水着を持参して行こう。

シンガポールに行ったが別のホテルに泊った、しかしこのホテルにも行って見たい人のためにマリーナベイ・サンズホテルの見どころをご紹介します。

このホテル3棟の上に造られた空中庭園「サンズスカイパーク」、地上200mの高さからマリーナ湾の周辺を一望できる展望台である。チケット売り場はホテルタワーNo3の玄関から地下1階に降りたところがあり、専用エレベーターで56階の空中庭園入り口まで直行する。船型の空中庭園の舳先の部分をぐると廻ると西側にシェントンウェイやマーライオン、北側にシンガポールフライヤー、東側にガーデンバイザベイなど、マリーナ地区の代表的な施設を眼下に見下ろすことができる。

この空中庭園を訪れるオススメの時間は、なんといっても夜、シェントンウェイの摩天楼が宝石箱のように輝き、まるで映画を見ているような風景であった。シンガポールの日没時間は1年を通して、夜7時過ぎのようで、夜景を楽しむには、夜7時半過ぎに訪れるのが一番良いようである。涼しい夜風に吹かれてシンガポールのこの夜景を愛している人と眺めるのは人生最高の気分かも知れない。

マリーナベイ・サンズの1階および地下1、2階には、全面ガラス張りの巨大ショッピングモール「ザ・ショッパスアットマリーナベイ・サンズ」が広がっている。曲線を描くモールの内部の端から端まで4～500mもありそんな広大な空間には世界的なブランド店からカジュアル・ファッションのお店まで300以上の店舗が並んでいた。中には「セブンイレブン」の店があってほっとした気持ちになった。高級品がお目当ての人は、地下1階のチェックをおすすめ。ロータリー状になった吹き抜けを中心に、プラダ、エルメス、カルティエ、フェンディ、グッチなどの人気ブランドのお店がずらりと並んでいる。そしてルイ・ヴィトンは屋外の水上店舗に繋がっており、ショッピングモールとの接続部分はギャラリーになっていた。地下2階に行くとカジュアル・ファッションの店舗も並んでいる。そして水路を小舟でひとめぐりする「サイパンライド」があり、屋内にいながらまるでヴェネツィアのような気分を味わえる。

さらに地下2階の吹き抜け部分には、約600平方メートルの、人工の氷でできたスケートリンクがあるという。今回は見なかったが、ここ、常夏の国にとっても考えられない施設である。

また、ザ・ショッパスアットマリーナベイ・サンズにはお買い物や観光の合間に入れる食事どころもいっぱいあった。宿泊のホテル棟からはちょっと遠いが、地下2階には点心が自慢の鼎泰豊、軽食も摂れるカフェのザコーヒービーン&ティーリーフ・ビーンストロ、カヤトーストが名物のトーストボックスなど、市中でもおなじみのチェーン店が並んでいた。そしてフードコートの「ラサプラ・マスターズ」、960席の大型フードコートで、シンガポール料理の名店のストールがずらりと並んでいた。フライド・ホッケンミー、チキンライス、バクテーなど、ぜひ試してみたいローカルフードがこれまた勢揃いしていた。他にも世界中の料理もあって、それに和食もある。なんと24時間営業していて人も多かった。

その道の通にはわかると思うが、シンガポールが世界に誇るティーブランド「TWG」のティーサロンが2店あった。1店は半円を描くステージ上の敷地に、もう1店はなんと水路の橋の上にあった。

世界各国から選りすぐった茶葉を独自にブレンドした紅茶は香り高く、ケーキやマカロンも絶品であった。3段トレイに載ったケーキやサンドイッチを、お茶と共に味わうティーセットも好評のようである。我々はアイ스티ーとケーキ風のアイスクリームを注文したが、さすがに「TWG」高級な単価であった。

近くに日本から来た女子学生が7～8人で軽食を楽しんでいた。

毎日夜8時、9時、光と水のショー「スペクトラ」で最新噴水のショーを楽しんだ。

最新の光・LEDの噴水の技術を使ったショーで、ホテルから出て水面に行くと見られる。このショーは金曜日と土曜日は3回10時もあると言う。すばらしいショーだから、行かれたら必ず見てほしい。

マリーナベイ・サンズにもう1つ大きな遊び場所がある。地下2階の奥に「カジノ」があって、その道の通にはかかせない遊び場、賭け事が好きな富豪家にはこたえられない場所と言える。入場にはパスポート等念入りのチェックがあって、なかなか厳しかったが、中は広大と言っていい程広く驚いた。24時間営業でなかなか人気のようであった。



※夜のマリーナベイ・サンズホテル。見事な景観であった



※光と水のショー

このマリーナベイはラスベガスのカジノリゾート運営会社ラスベガス・サンズによって開発され、500のテーブルと1,600のスロットマシンが並ぶ、単独として世界最大のカジノを中心に、2,561室のホテル、12万平方メートルのコンベンションセンター、7万4千平方メートルのショッピングモール、美術館、シアター、グラスパビリオンなどを含んだ複合リゾートなのである。タワー1・2・3と3つの超高層ビル（最高部高さ200m、57階建て）を屋上で連結した構造。設計は「モシェ・サフディ」。建設は韓国の双竜建設会社と記されているが屋上の連結部分は日本の建設会社が引き受けたと言われる。その3棟のホテルの屋上にある1ヘクタールの空中庭園「サンズスカイパーク」は観光名所である。

とにかく、このホテルは最高の施設らしく何かと話題も多い。世界の観光客が集まっているというシンガポール、そしてこのホテル。

まだまだ「シンガポール」の話題は多いので、次回も続けたいと思う。

平成30年12月10日 記



※埋立した丘にホテルは建てられている。遊覧船がホテルから見下せる